

# 令和6年度 岐阜県農薬管理指導士認定試験問題

**指示があるまで開けてはいけません**

## 【 注 意 事 項 】

- 1 問題は、40問あります。
- 2 設問ごとに答えを1つ選んで、その番号を各問題右下の□に記入してください。
- 3 □に、選択肢の1～4以外の番号を記入した場合及び1～4の番号を2つ以上記入した場合は「無効」となります。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 問題は、3ページから22ページまでです。落丁、印刷ミス等がある場合は挙手してください。
- 6 試験開始後、30分間は退場できません。また、退場した方は、再び入場することはできません。
- 7 退場するときは、問題用紙を閉じ、この面を表にして各自の机の上に置き、忘れ物のないように静かに退場してください。
- 8 下欄に「受講番号」及び「氏名」を記入して開始の合図までお待ちください。

受講番号		氏名	
------	--	----	--



**【植物防疫一般】**

問1 令和6年度は、カメムシの大量発生がニュースになっていたが、発生消長を把握する手法である病害虫発生予察情報について記述した次の文章の（ア）から（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- ・ 新しい病害虫が発見されたあるいは、重要な病害虫の発生状況が例年と異なるなど特異的な現象が認められたときに発表される情報は（ア）である。
- ・ 重大な病害虫が大発生することが予想され、すぐにでも防除する必要があるときに発表される情報は（イ）である。
- ・ （イ）を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発生することが予想され、早めに防除したほうがよい場合に発表される情報は（ウ）である。

	（ア）	（イ）	（ウ）
1	特殊報	注意報	警報
2	警報	注意報	特殊報
3	特殊報	警報	注意報
4	注意報	特殊報	発生予報

**解答**

問2 無人航空機の利用に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 無人ヘリコプターや小型の無人航空機の空中散布は、農林水産省が制定した「空中散布等における無人航空機利用技術指導指針」に基づき、安全かつ適正な実施を図られている。
- 2 無人ヘリコプターや小型の無人航空機を農薬散布に利用する場合、事前に国土交通大臣の許可・承認を受ける必要がある。
- 3 無人ヘリコプターや小型の無人航空機による農薬散布は、農作業の効率化及び低コスト化に大きく寄与するものであるが、住民の環境意識が高まるなか全国的に減少傾向にある。
- 4 無人ヘリコプターや小型の無人航空機（いわゆるドローン等）を農薬散布に利用する場合は、飛散が少ないため周辺住民や学校等公共施設に事前周知しなくてよい。

**解答**

問3 植物検疫に関する次の記述のうち、(ア)～(ウ)に入る語句の組み合わせとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- ・ 輸入検疫は、海外から病害虫が植物などに付着して侵入してくることを防ぐ目的で行われる。省令で定められた港又は飛行場を輸入場所として、一部の植物を除き輸出国政府機関の発行した(ア)が添付された植物を、植物防疫所に届け出て、植物防疫官の検査を受ける。
- ・ 輸出検疫は、諸外国が自国への病害虫の侵入を防止するため、必要に応じて輸出国(我が国)での検査の要求に対し実施するもの。
- ・ 具体的には、輸出する植物及びその容器包装について、輸入国の要求に応じて、栽培期間中や輸出時に(イ)が検査を行う。
- ・ 国内検疫は、新たに国内に侵入し、又は国内の一部のみに存在する重要病害虫のまん延を防止するため、緊急防除、植物の移動規制、侵入警戒調査、指定種苗の検査等を行うものである。侵入調査事業の対象となっている病害虫の例として(ウ)、コドリングア、火傷病などがある。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	納品書	植物防疫官	いもち病
2	検査証明書	輸入業者	ヨトウムシ
3	免許証	病害虫防除員	モンシロチョウ
4	検査証明書	植物防疫官	チチュウカイミバエ

解答

**【農薬取締法】**

問4 次の文章は農薬取締法の第1条（目的）の部分である。（ア）から（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

この法律は、農薬について（ア）の制度を設け、（イ）を行うことにより、農薬の安全性その他の品質及びその安全かつ適正な使用の確保を図り、もって農業生産の安定と（ウ）に資するとともに、国民の生活環境の保全に寄与することを目的とする。

	（ア）	（イ）	（ウ）
1	届出	販売及び保管の規制等	国民の健康の保護
2	届出	販売及び使用の規制等	食糧の安定供給
3	登録	販売及び保管の規制等	食糧の安定供給
4	登録	販売及び使用の規制等	国民の健康の保護

**解答**

問5 次の文章は農薬取締法の第2条（定義）の部分である。（ア）から（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

この法律において「農薬」とは、（ア）（樹木及び農林産物を含む。以下「農作物等」という。）を害する菌、線虫、だに、昆虫、ねずみ、草その他の動植物又はウイルスの防除に用いられる（イ）、殺虫剤、除草剤その他の薬剤及び農作物等の生理機能の増進又は抑制に用いられる（ウ）、発芽抑制剤その他の薬剤をいう。

	（ア）	（イ）	（ウ）
1	農作物	展着剤	除草剤
2	農作物	殺菌剤	成長促進剤
3	園芸作物	展着剤	成長促進剤
4	園芸作物	殺菌剤	除草剤

**解答**

問6 次の文章は、農薬の販売者の届出期間に関する規程である。(ア)から(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬の販売者の届出は、新たに販売を開始する場合にあつてはその(ア)までに、販売所を増設し、又は廃止した場合にあつてはその増設又は廃止の日から(イ)に、届出に掲げる事項に変更を生じた場合にあつてはその変更を生じた日から(ウ)に、これをしなければならない。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	開始の日	2週間以内	2週間以内
2	開始の日	10日以内	10日以内
3	開始の日2週間前	2週間以内	2週間以内
4	開始の日10日前	10日以内	10日以内

解答

問7 特定農薬に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 特定農薬とは環境や人体への安全性の面から特に注意を要する農薬である。
- 2 特定農薬は農林水産大臣及び厚生労働大臣が指定する。
- 3 特定農薬を製造するときは、農林水産大臣の登録を受ける必要がない。
- 4 専ら特定農薬を製造し、販売する場合は、農薬販売の届出は不要である。

解答

問8 農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 航空機を用いて農薬を散布するときや住宅地周辺で農薬を使用するときは飛散を、ゴルフ場や水田で使用するときは流出を、クロルピクリンを含有する農薬を使用するときは揮散を防止するために必要な措置を講じるよう努めなければならない。
- 2 飼料作物は、ヒトが口に入れるものではないため、適用農作物の範囲に含まれていない農薬も使用することができる。
- 3 農薬の使用回数のカウントには、種や苗への使用は含まれない。
- 4 ゴルフ場で農薬散布を行う者は、農薬使用計画を提出する必要はない。

解答

問9 農薬使用者が、農薬を使用したときに帳簿に記載するよう努めなければならないとされている次の事項のうち、誤っているものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬を使用した年月日
- 2 農薬を使用した場所
- 3 使用した農薬の購入先又は譲受先
- 4 使用した農薬の単位面積当たりの使用量又は希釈倍数

解答

**【毒物・劇物取締法】**

問10 毒物又は劇物の営業の登録等に関する記述の正誤について、正しいものの組み合わせを1～4の中から一つ選びなさい。

- ア 毒物又は劇物の販売業の登録は、店舗ごとに受ける必要がある。
- イ 毒物又は劇物の製造業の登録は、6年ごとに更新を受けなければその効力を失う。
- ウ 特定品目販売業の登録を受けた者は、特定毒物を販売することができる。

	ア	イ	ウ
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正

解答

問11 法第12条の規定により、毒物劇物営業者が劇物の容器及び被包に表示しなければならない文字として正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 「医薬用外」の文字及び白地に赤色をもって「劇物」の文字
- 2 「医薬用外」の文字及び白地に黒色をもって「劇物」の文字
- 3 「医薬用外」の文字及び黒地に白色をもって「劇物」の文字
- 4 「医薬用外」の文字及び赤地に黒色をもって「劇物」の文字

解答

問12 毒物又は劇物の販売業者が、毒物劇物営業者以外の者に毒物又は劇物を販売する際、譲受人から提出を受けなければならない書面に関する記述の正誤について、正しいものの組み合わせを1～4の中から一つ選びなさい。

ア 書面の保存期間は、販売した日から5年間である。

イ 譲受人が押印しなければならない。

ウ 販売の年月日及び販売価格が記載されていなければならない。

	ア	イ	ウ
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正

解答

**【食品衛生法】**

問13 食品衛生法に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 食品等事業者とは、食品の加工や販売を行う者を指し、食品の採取を行う者は含まれない。
- 2 食品等事業者の責務として、販売食品等に関する記録は、都道府県等に提供してはならない。
- 3 都道府県知事等は毎年度、翌年度の食品衛生監視指導計画を策定し、食品等の検査や食品等事業者の監視指導を行っている。
- 4 輸入食品は、生産、製造された国の法律に適合していれば、食品衛生法の規制を受けない。

**解答**

問14 食品衛生法に定められている食品の規格又は基準に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 規格又は基準に合わない食品を輸入し、保存し、販売することはできない。
- 2 残留農薬の規制に加工品は含まれない。
- 3 ポジティブリスト制度はすべての農薬が対象である。
- 4 残留農薬基準において、人の健康を損なうおそれのない量として定められている一律基準は0.1ppmである。

**解答**

**【農薬一般】**

問15 農薬取締法による農薬の定義として、次の記述のうち正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 家庭で使用する、ゴキブリや蚊などの衛生害虫を防除する薬剤は殺虫剤のため、農薬に該当する。
- 2 支柱や育苗箱などの資材の消毒に使用する薬剤は農業用のため、農薬に該当する。
- 3 天敵昆虫や、作物の病原菌を抑える微生物は、生物であり化学物質ではないが、農薬に該当する。
- 4 農薬登録が無く、「農薬として使用できない」や「非農耕地用」と表示されている除草剤を畑などで農作物の管理に使用しても、農薬取締法上、問題はない。

**解答**

問16 農薬の用途別分類に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 殺虫剤は、農作物にとって有害な昆虫(害虫)を防除する薬剤を指し、殺ダニ剤、殺線虫剤、貯穀害虫防除や畑地くん蒸に用いられるくん蒸剤も含まれる。
- 2 殺菌剤は、農作物にとって有害な菌(病原細菌、病原糸状菌)を防除する薬剤のことを指すが、ウイルスは菌ではないため、ウイルス病防除剤は含まれない。
- 3 ジベレリンなどの植物成長調節剤は、作物の品質や収量を向上させるため、植物の成長や発育をコントロールする薬剤であり、農薬には含まれない。
- 4 展着剤は界面活性剤の一種であり、主成分の効果を高める働きがあるが、それ自体には薬効はないため、農薬には含まれない。

**解答**

問17 農薬の剤型別の使用方法に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 粉剤とは、粘土などの鉱物質微粉で希釈し、微粉（ $45\mu\text{m}$ 以下）となるように製剤化したもので、水に希釈して使用（散布等）する。
- 2 粒剤とは、粘土などの鉱物質によって細粒（ $300\mu\text{m}\sim 1,700\mu\text{m}$ ）となるように製剤化したもので、有機溶媒に希釈して使用（散布等）する。
- 3 水和剤とは、水に対して親和性のある製剤で、水に懸濁させて使用（散布等）する。
- 4 乳剤は、水に溶けにくい農薬原体を有機溶媒に溶かし乳化剤を加えた油状液体で、水に希釈せずそのまま使用（散布等）する。

解答

問18 農薬に対する薬剤抵抗性・耐性に関する記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 害虫や病原菌が薬剤抵抗性・耐性を持たないようにするためには、農薬を使用するたびに、粒剤やフロアブル剤など農薬の剤型を変えて使用することが重要である。
- 2 害虫や病原菌が薬剤抵抗性・耐性を持たないようにするためには、同じ系統の農薬を連続して使用することが重要である。
- 3 病害虫がある種の薬剤に抵抗性・耐性を持った場合、異なった作用機構の薬剤に対しても、抵抗性・耐性を同時に持つことはあり得ない。
- 4 農薬は、それぞれの成分の作用機構によって、RACコードの分類に従い細かく分類されており、2つの農薬が同一系統かどうかは各成分のRACコードを見て判断する。

解答

**【農薬安全性評価】**

問19 農薬のリスクに関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 作物に散布された農薬は、目的とする効果を発揮しながら、紫外線、雨水、作物体や微生物の働きによってその多くは分解・消失していき、収穫物に残留することは全くない。
- 2 農薬は、その多くが生理活性を有する化学物質であるが、その使用によって、防除対象とする病害虫や雑草以外の作物、ヒト及び環境に悪影響を及ぼすことは無い。
- 3 作物に農薬を散布する時には、農薬に触れたり吸入したりすること等による散布者への健康影響が考えられる。防護対策を講じても散布者の健康に重大な影響が懸念されるようでは農薬として使用することはできない。
- 4 ヒトに対する毒性が強い農薬とそうでない農薬を比較すると、同じ量の暴露があれば、影響の程度も同じである。

**解答**

問20 農薬の残留基準に関する次の記述のうち、(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬の残留基準等で使用される単位「ppm」とは、100万分の1という意味であり、作物中の残留農薬では、1ppmは1kgの作物に含まれる(ア)の農薬に相当する。残留農薬基準値は、「許容一日摂取量(ADI)」と「急性参照用量(ARfD)」に基づいて定められており、ある農薬について、様々な食品からの長期的な摂取量の総量が(イ)の8割を超えないことと、個別の食品からの短期的な摂取量が(ウ)を超えないように設定される。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	1mg	ADI	ARfD
2	1mg	ARfD	ADI
3	1g	ADI	ARfD
4	1g	ARfD	ADI

**解答**

問 2 1 リスク評価に関する次の記述のうち、正しいものを 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬の有効成分は、作物体や土壌あるいは水中で、光・熱・水分だけでなく微生物や作物体内の代謝によって分解・消失し、様々な物質（代謝生成物）に変化する。こうした代謝生成物の毒性は評価されない。
- 2 ヒトや有用生物に対する毒性を調べるために行われる毒性試験は、短期間に多量の農薬を摂取した場合の毒性（急性毒性）のみ行われている。
- 3 土壌に落下した農薬が蓄積して悪影響を及ぼすことがないように、土壌中での分解・消失に関する試験に基づき、半減期が一定の期間（180日）を超えないよう設定されている。
- 4 有用生物に対する毒性試験は、ミツバチ、蚕を対象に行われているが、生活環境動植物に対しては行われていない。

解答

問 2 2 農薬リスクの実態に関する次の記述のうち、正しいものを 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 残留農薬基準や登録基準は、相当の安全を見込んで設定されているが、市販農産物中の残留農薬は、基準値を超える非常に多い量が検出されることが多い。
- 2 通常の食生活において、農産物を洗ったり、皮を剥いたり、あるいは加熱して摂取するが、それらの過程でも農産物中の残留農薬は減少しない。
- 3 畑地や果樹園で使用される農薬や、ゴルフ場使用農薬については、飛散によって問題が起きたり、降雨によって農薬が流出することはない。
- 4 水田で使用される農薬、とりわけ栽培初中期に田面水に直接施用する農薬は、施用後の水管理や降雨によって水田から流出しやすいため、水管理には注意が必要である。

解答

**【害虫防除】**

問23 次の害虫と関連する作物名および加害様式の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

【害虫】	【作物名】	【加害様式】
1 ハスモンヨトウ	ダイズ	根部を食害する。
2 トビイロウンカ	スイカ	外部から茎葉部を食害する。
3 モンシロチョウ	キャベツ	外部から茎葉部を食害する。
4 アブラムシ類	野菜他	地際部を加害、食い切る。

**解答**

問24 次の記述のうち、( )に入る語句として、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

昆虫が、自分の体外へ発散して同種他個体に生理的あるいは行動上の刺激を誘発する化学物質を( )と呼び、雌雄の間で性的刺激を誘発する( )を性( )という。一部の害虫では性( )をほ場に設置して害虫を誘引したり交尾を阻害することにより、害虫を防除するという利用法がある。

- 1 フェロモン
- 2 カイロモン
- 3 アロモン
- 4 ムシモン

**解答**

問25 次の殺虫剤抵抗性対策に関する記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 殺虫剤抵抗性害虫が発生するしくみは害虫の中に殺虫剤に強い遺伝子＝抵抗性遺伝子を持つものが残るためである。
- 2 土着天敵や導入天敵を有効に活用するためには、天敵に影響のある殺虫剤を利用する。
- 3 連続した世代に同一の作用機構を持つ薬剤を使用する世代間連用は抵抗性の発達を妨げる。
- 4 対象害虫の殺虫剤に対する感受性は、卵→幼虫→成虫に至るそれぞれのステージによって変わらない。

**解答**

**【病害防除】**

問 2 6 病原菌の伝染方法や病気の発生に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 ウイルスの感染に、アブラムシやウンカ等の昆虫は関係ない。
- 2 細菌は、風雨で伝搬するが、摘心などの管理作業で植物に侵入することはない。
- 3 糸状菌は、胞子による空気伝染、遊走子などによる水媒伝染、菌糸による土壌伝染などが主な伝染方法である。
- 4 温度や湿度は、病気の発生を左右する環境要因ではない。

解答

問 2 7 病害防除に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 病害防除を行うとき、病気の原因菌の特定（診断）は重要ではない。
- 2 抵抗性品種の利用は、最も効果的で経済的な防除法である。
- 3 農薬である微生物農薬の利用は、生物的防除法に該当しない。
- 4 殺菌剤は病原菌を直接殺菌する農薬であるため、発病が進んだ後に散布しても、十分な防除効果が得られる。

解答

問 2 8 殺菌剤耐性に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 全ての殺菌剤は、耐性菌発達リスクが低いいため、殺菌剤の系統や FRAC コードを知ることは大切ではない。
- 2 薬剤の使用は、防除効果が高い同系統の薬剤を連用する方がよく、耐性菌も発生しない。
- 3 殺菌剤耐性菌は、他系統の薬剤とローテーションで使用（輪用、交互使用）すれば、絶対に発生しない。
- 4 耐性菌対策は、IPM（総合的病害虫・雑草管理）の実現に重要である。

解答

**【雑草防除】**

問29 次の雑草のうち、水田一年生雑草を一つ選びなさい。

- 1 イヌホタルイ
- 2 ミズガヤツリ
- 3 タイヌビエ
- 4 ウリカワ

**解答**

問30 雑草の特性に関する記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 一年生雑草は秋冬期に枯れる雑草であるのに対し、多年生雑草は秋冬期も枯れずに繁茂し、翌年さらに増える雑草のことをいう。
- 2 雑草の種子や塊茎などは成熟後しばらく休眠して、夏雑草では冬、冬雑草では夏をそれぞれ越して各雑草に適切な温度や水分になると発芽してくる。
- 3 多年生雑草の繁殖器官である塊茎は水分をほとんど含まず、低温にも耐えられるため秋耕して塊茎を地表面に露出させても死滅・減少させる事はできない。
- 4 水田では代かき後、畑では整地後まもなく雑草の発生が始まる。雑草の生育は作物より早く、作物により光が遮られていても、発芽・繁茂してくるため作物の収穫直前まで雑草対策を講じる必要がある。

**解答**

問31 除草剤に関する記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 全ての除草剤は、雑草の種類や作物による選択性はなく、散布した全ての植物を枯らす非選択性である。
- 2 除草剤は、生育している雑草の茎葉に散布することで雑草を枯らす茎葉処理剤のみであり、雑草の発生前に土壌表面に散布して雑草の発生を抑える、土壌処理剤は存在しない。
- 3 除草剤はどのような条件で使用しても、高い除草効果があるので発生雑草の種類生育程度、田畑の状況を考慮する必要はない。
- 4 除草剤は、水で希釈して散布する液剤や水和剤だけでなく、粒剤や細粒剤Fさらに水田ではジャンボ剤、豆つぶ剤など、さまざまな剤型があり使用する散布機や労力などに応じた選択ができる。

**解答**

**【農薬安全使用】**

問32 農薬に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬使用者の責務として、農作物等に害を及ぼさないようにすることは定められているが、人畜に被害が生じないようにすることは定められていない。
- 2 ゴルフ場での農薬使用者は、毎年度、使用しようとする最初の日までに、農薬使用計画書を農林水産大臣及び環境大臣に提出しなければならない。
- 3 DDT、BHC、パラチオン等27種類の農薬は、省令により販売が禁止されているが、これらを使用することは罰則の対象ではない。
- 4 農薬を使用する場合は、容器・包装のラベルに表示されている事項は、あくまで目安であるため遵守する必要はない。

**解答**

問33 農薬のラベル表示や保管管理に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬のラベルに記載された表示内容は変更されないため、使い慣れた農薬は使用前に表示内容を確認する必要はない。
- 2 農薬の保管場所は、直射日光が当たらない冷涼で乾燥した場所が望ましく、食品と一緒に保管すると良い。
- 3 農薬は、誤飲を防ぐためにも、ペットボトルや茶色褐色瓶など他の容器に移し替えてはならない。
- 4 使用済み農薬の空き容器を処分する場合、きれいに洗浄を行えば、空容器の野焼き（野外の焼却）を行っても良い。

**解答**

問34 農薬の安全使用に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬中毒の原因別の統計では、「防護装備が不十分なため」の割合が高い。
- 2 農薬散布時には、農業用マスクの着用が望ましいが、手に入らない場合は手ぬぐいやタオルで代用しても差し支えない。
- 3 農薬散布時に農薬用防除衣を着用ことは熱中症の原因となるため、農薬を浸透させる通気性がよい服装で作業するのが良い。
- 4 ゴーグル型の保護めがねを着用して作業すると、中が曇って作業に支障をきたすため、使用しない。

解答

問35 農薬の使用上の注意点に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬は人体に対する安全性が確認されているため、体調がすぐれない時に農薬に接触しても中毒になることはない。
- 2 希釈した散布液を放置しても農薬成分は分解しないため、調整後の薬液が余ったら保存しておく。
- 3 農薬の散布は、非常に体力を要し疲労するので、2時間ぐらいを限度とする。
- 4 農薬散布終了後は、タンクやホースを確実に洗浄し、洗浄液は河川へ排出し希釈すると良い。

解答

問36 農薬散布時の周辺住民及び環境への配慮に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 飛散防止対策の一環として、病害虫に強い作物や品種の栽培は、農薬の使用回数及び量を削減する手段として有効である。
- 2 住宅地やその周辺で農薬を使用する場合は、粉剤等の飛散しやすい農薬を使用すると作業時間が短縮されて良い。
- 3 すべての農薬は登録に際して、家畜、ミツバチや蚕などの有用昆虫、水産動植物等への影響について、その安全性が確保されているため、それらに対して配慮する必要はない。
- 4 水田で使用する農薬は、散布後すぐに土壌に吸着されるため、散布直後に落水しても良い。

解答

問37 農薬散布時の飛散防止及び作物残留に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬の飛散には、散布時の風速が影響し、散布粒子の大きさや散布法は関係しない。
- 2 農薬の散布量と飛散の発生量は関係しないため、作物の大きさを考慮することなくたっぷりと散布すると良い。
- 3 散布器具のタンクやホース内に薬液を残したまま別の作物に使用すると、不慮の農薬残留につながるおそれがあるため、農薬散布後にタンクやホースの洗浄をしっかりと行うことが重要である。
- 4 収穫が近い農作物に農薬が飛散した場合でも、速やかに分解されるため特に飛散防止対策を行う必要はない。

解答

**【農薬管理指導士の任務】**

問38 農薬管理指導士に求められる資質に関する次の記述のうち、(ア)～(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬管理指導士は、その任務を確実に実行するために、常日頃から自らの資質の維持・向上に努めることが必要とされる。農作物などの(ア)に不可欠な農薬が、いかにしてその(イ)が確保されているかを理解し、農薬の適正使用に関する認識を深めた上で、農薬取締法など関係法規、農薬の特性、(ウ)、病害虫・雑草の発生生態や防除に関することなど、農薬全般に関する一般的な事項についても十分な知識を有することが求められる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	生育	緊急性	農薬の販売方法
2	安定的な生産	安全性	農薬の適正使用方法
3	生育	安全性	農薬の販売方法
4	安定的な生産	採算性	農薬の適正使用方法

解答

問39 農薬管理指導士に関する次の記述のうち、正しい組合せを一つ選びなさい。

- ア 農薬管理指導士は、販売業者・防除業者の中で中核的な存在として、自らの立場を認識したうえで任務に当たらなくてはならない。
- イ 農薬管理指導士の任務には、「農薬の使用に伴う人畜に対する危被害防止及び環境の保全」について農薬使用者等に指導・助言することも含まれる。
- ウ 農薬管理指導士の認定期間は5年間であり、継続して認定を受ける場合は、更新研修を受講する必要がある。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正

解答

**【最近の動向】**

問40 次の文章は、農業生産工程管理（GAP）の定義について述べたものである。（ア）から（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農業生産工程管理（GAP）とは、農業生産の各工程の実施、記録及び（ア）を行うことによる持続的な改善活動のこと。農林水産省では食品安全、（イ）、労働安全、人権保護、農場経営管理の5分野を満たした（ウ）を推進しています。

岐阜県でも国際水準 GAP に準拠したぎふ清流GAP評価制度を推進し、持続可能な農業を目指します。

	（ア）	（イ）	（ウ）
1	点検	環境保全	日本版 GAP
2	評価	環境保全	国際水準 GAP
3	点検	農薬安全	日本版 GAP
4	評価	農薬安全	国際水準 GAP

**解答**

